

グアムインターナショナルマラソン

—ボランティアで参加！— 初ボランティア

グアムに来て2年近くとなりましたが、これまでボランティアに参加した経験がありませんでした。そろそろ何か参加した方がいいかと思っていた折、妻が5Kに参加しないかと誘ってきたので、走るよりはいいかと思いい、ボランティアに参加を決めました。当日は朝3時半集合。私はユナイテッド航空の提供するジョン・エフ・ケネディー高校の前の給水所で準備にかかりました。朝早くにも関わらず、ユナイテッド航空の人たちは陽気で、歌いながら、踊りながら準備を進めていましたので、眠気もふっ飛び、こちらも気分よく準備を進めることができました。レース中は、救急や負傷者もなく、特に重要な通訳の局面はありませんでした。水とゲータレードを選手に渡しながら、同じく水とゲータレードを選手に渡すユナイテッド航空の人たちに、「ミズ」「ゴール、モウチョット」「ガンバレ」などの日本語を教えました。異国での日本語による声援に励まされた人がいれば幸いです。最後の人が通過するまで約7時間、立ちっぱなしでしたが、一所懸命走っている人を見てると、疲れはあまり感じず、とても爽快感がありました。

(余談) 水が入っていたカップを捨てる際、日本人はどうしてもゴミ箱を探してしまうようで、みんなが「You can throw.」といっても、一度しゃがんで電柱脇などに置く方が多く見られました。こんな日本人のいい面を再確認できたボランティアでもありました。また来年も参加できればと思っております。

OYO Corporation, Pacific 中村一樹

—フルマラソンで参加— ~走り始めて3年~

走り始めて3年、膝痛と闘いながらようやくフルマラソンに挑戦する機会が訪れました。4月7日に第一回グアムインターナショナルマラソンが開催されると知った時は、私らしい晴れの舞台となる予感がありました。3月中旬にストレッチを念入りにし過ぎて膝の筋を痛めてしまうまでは、、、。と言うことで記録よりも記憶？いえいえ、気力で完走することに目標を切り替え、当日に臨みました。

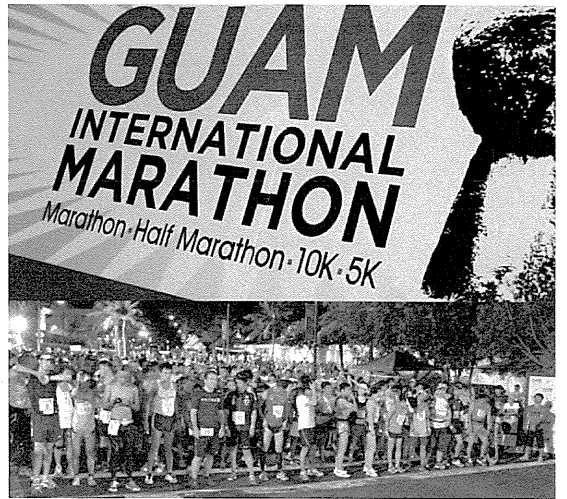
フルマラソンの他にも5k、10kそしてハーフマラソンが同日開催され、日本や韓国からのランナーも含め総勢約2000名が参加し、フルマラソンには約500名が参加し

ました。ホノルルマラソンなどの参加人数が万単位の大大会と比べると寂しい数字と思われませんが、スタート地点であるホテルロードを500名のランナーが埋め尽くす光景はなかなか

か壮観でした。朝4時にスタート、私は気が付きませんでした。星がきれい！と日本から参加された方々がお話ししていました。私のような遅いランナーの場合、レース後半は炎天下となり、暑さに慣れていないと、厳しいレースとなったかもしれません。それでも約2キロ毎にあるエイドステーションでは、大勢の心のこもった応援があり、ランナーの皆さんは楽しめたのではないのでしょうか。因みにこの2キロ毎と言うのは、私には好都合でした。各エイドの手前200mくらいから見栄を張って元気に走ることができたからです。これが延々と応援が途絶えることなく続くと思っても燃料切れしていたことでしょう。ボランティアのみなさんの応援により、私もなんとか完走することができ、グアムらしいアットホームな記憶に残る良い大会となりました。来年は4月13日の開催が既に決定しています。

ところで今回のレースは、国際陸上競技連盟公認となり、グアムでの記録を元にポストンマラソンに参加されたランナーもいらしたとか。お亡くなりなられた方とその関係者の皆様にお悔やみ申し上げます。また被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。

福本 幹也



TOTO ウオッシュレット

米国向け
115ボルト仕様
変圧器 不要!!



取り付けは、ドライバー1本で簡単。
その他、東陶製品、空調機などの
修理・サービスなど承ります。
お気軽にお問い合わせ下さい。

Port Enterprises (Guam) Inc. dba: DAIKIN
TEL: 646-6722/1722, Fax: 646-4878
Cell: 687-0085 (後藤) E-mail: port@guam.net

編集後記

日本人会も新年度を迎え、総勢22名の理事・監事のうち新旧8名の理事が入り替わりしました。私も理事3年目の最後の年に渉外広報部部長という大役を仰せつかり不安もありますが、新理事の『川端 真穂』さんを副部長として迎える事ができたので大変心強く感じております。この一年でラッテを通して日本人会の活動などを皆様により良く知って頂き、少しでも皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。また、ラッテの企画や記事についてもどうしてもマンネリ化してしまうので、読者からのご意見や投稿等もお待ち申し上げます。編集後記ではラッテ編集委員の方々がプライベートな出来事や自分の考えを自由に紹介する場を設け最後まで楽しく読んで頂けるようにしております。今年一年どうぞ宜しくお願い致します。

渉外広報部部長 熊谷 統